

# 小学生プログラマーが力作

## 24の団体・個人、神戸で県大会



環境問題や平和をテーマにした作品で競い合った入賞者＝神戸市東灘区向洋町中2

小学生がコンピュータープログラミングの作品やアイデアを競う「全国選抜小学生プログラミング兵庫県大会」（神戸新聞社主催）が、神戸市東灘区の神戸フアッション美術館オルビスホールであった。計24の団体・個人が個性あふれる作品を制作、発表した。

同大会は2020年から開催され、今年のテーマは「みんなの未来」。23日、参加者は持続可能な開発目標（SDGs）の考えに基づいたゲーム作品や、暮らしを便利にするロボット、アプリなど、多彩なアイデアを3分間で紹介した。最優秀賞に輝いたのは、

神戸市立住吉小6年の村田陽生さん(12)と同市立明親小6年の梶田伊吹さん(12)でつくる2人組「カジムラヒナキ」。プログラミングによって動くカメのロボットを披露した。2人は、来年3月に東京で開かれる全国大会にも出場する予定で「全国に行けるのなら一番上を目指したい」と口をそろえた。（勝浦美香）

他の受賞者は次の通り。  
（敬称略）

優秀賞Ⅱ小さき花（神戸市立福住小4年・石原路、同市立美野丘小4年・大橋瑞生）  
▽大栄環境賞Ⅱハッピーアース（同市立向洋小6年・山川翔、山口蒼空、宮本奏）▽みなと銀行賞Ⅱ永山ちはや（同市立竹の台小6年）▽住友生命賞Ⅱ浦杉一生（太子町立石海小4年）▽ミックウエア賞Ⅱ衣笠ニトカ（加西市立北条東小4年）▽美樹工業賞Ⅱ鳥居陽斗（神戸市立竹の台小6年）